

“ともにかなる” このまちで。



とよかわ応援サポーターの皆さんがしているのは、
シティプロモーションロゴ🔵💠を模した「ともかな」ポーズ！

今回の特集では、豊川市シティプロモーション戦略に込めた思いや取り組みなどを紹介するとともに、とよかわ応援サポーターの声をお届けします。詳しいことは、元気なとよかわ発信課（95-0260）へお問い合わせください。 ☎ 9363

とよかわ応援サポーター とは？ ☎ 29155

豊川市に愛着を持って、市が持つ住みやすさ、働きやすさ、子育てのしやすさなど、さまざまな魅力や価値を、自らSNSなどで発信していただける方を認定する制度です。行政だけでなく、個人や企業・団体が一緒になって豊川市の魅力を市内外に向けてPR していきます。

7月1日時点で、個人は121人、企業・団体は47団体が登録しています。

11 住み続けられる
まちづくりを



17 パートナースHIPで
目標を達成しよう



シティプロモーション戦略で 選ばれるまちに



◆ 将来目標 ㊦ 28519

シティプロモーションとは、まちの魅力を磨き上げ、分かりやすく発信し、まちに関わる皆さんと共に、愛着を育てること。それを市で進めていくための要となるのが、「**豊川市シティプロモーション戦略**」です。

この戦略の将来目標は「**豊川市のこと好きな人を増やす**」こと。好きという気持ちは、個人の気持ちだけに留まらず、誰かに伝えたいという自発的な行動を促します。シティプロモーションを通じて、市のことを好きになってもらい、その気持ちを家族や友人などに伝えていってもらうことで、さらに好きの輪を広げていきます。また、行政や市民だけでなく、企業や団体などにも好きの輪が広がっていくことで、もっと豊川市が選ばれるまちになるよう、取り組みを推進していきます。

◆ ブランドメッセージ ㊦ 28556

好きの輪を広げていくため、「**ともに“かなえるなら”とよかわ**」をブランドメッセージとしています。このブランドメッセージは、単なるキャッチコピーではなく、豊川市ならではの居住環境や歴史・文化、自然、人々の魅力などを伝えるための**合言葉**です。

ブランドメッセージを視覚的に発信し、広く浸透させるために、シティプロモーションロゴを作成しました。このロゴは、市民や企業、団体など、豊川市の魅力を伝えたいという気持ちのある方であれば、誰でも使うことができます。チラシや名刺、オリジナルグッズなどに使用してみませんか？



ともに◆○◆
かなえるなら
○◆とよかわ

ともかな発信チーム 始めます！

豊川市の魅力をSNSなどで市と一緒に発信していく「ともかな発信チーム」をスタートします！ともかな発信チームでは、より効果的な発信ができるよう、写真・動画の撮影技術や加工方法などを実践的に学べる講座を開催します。一緒に技術を学び、市の魅力を発信しませんか？講座の日程など、詳しいことは、市ホームページを確認してください。 ㊦ 30313

対象・定員

高校生世代から40代のとよかわ応援サポーターの方で、15人程度
※申込時にとよかわ応援サポーターに申し込みされた方も含みます。

申込

8月21日(金)まで、右記二次元コードから受け付け。応募者多数の場合は抽選



▶ 申込はこちら



知っていますか？ イベントサポート制度

イベントなどの活性化とシティプロモーションの強化を図るため、団体が開催するイベントなどについて、開催へのアドバイスや広報によるPRなどで支援をしています。 1550

Q 対象となるのは？

A. 以下3つの条件をすべて満たす方

- ① 申請者が個人や企業ではない（実行委員会形式を除く）
- ② イベントなどの実施日、会場、内容が具体的に決まっている
- ③ イベントなどを開催する主催者、または代表者が市税を滞納していない

Q サポート内容は？

A.

- ・市の広報媒体による啓発
- ・公共施設でのチラシ配布
- ・印刷機利用の提供
- ・開催に必要な物品の貸し出し
- ・記者発表のサポート

など

Q 申し込みは？

A. 随時受け付けています

申込書に事業概要が分かる資料を添えて、直接、元気なとよかわ発信課（本庁舎2階）へ。市ホームページでも受け付けています。イベントなどの開催日2カ月前までの申し込みにご協力ください。

活用事例 支援イベントの一部を紹介します！

叶-yumekana-



風庭百貨市



縁 en



とが楽市



ここあーと2026



だるまるシェ



INTERVIEW

市民参加型マルシェ実行委員会
代表 丸山 英昭 さん



▲とが楽市
Instagram

本制度を活用している方にお話を伺いました！

町おこしがしたいと思い、キッチンカー「このまち食堂」を開業しました。観光協会で働いていた頃のつながりで砥鹿神社から要望を受けて「とが楽市」を始め、今年で10年目になります。当初は4店舗だけでしたが、現在では50店舗以上の出店があります。

イベントサポート制度は開業当初から利用しています。公共施設の他、幼稚園や保育園にチラシを配布してもらるので、チラシを見て来場する親子連れも多く見られます。また、市の印刷機を使用してチラシの印刷ができるのもありがたいです。

イベントを主催するのは不安だと思いますが、豊川市では民間が主導のイベントが多く開催されているので、経験豊富な方からアドバイスを受けることも可能です。行政のサポートもあり、金銭的な負担が少なくイベントを主催できることも魅力だと思います。



インクルーシブ
豊川文化祭実行委員会 代表
大山 茂久 さん



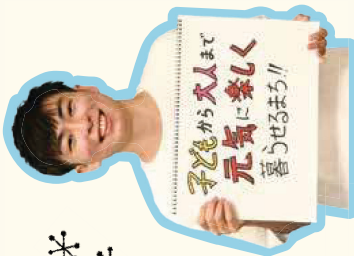
大竹さんファミリー



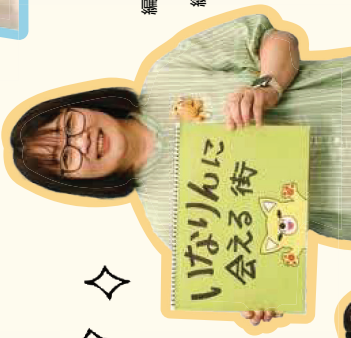
「おくたこ」店主
奥平 幸代 さん



長谷川 正美 さん



岡田 一輝 さん



編みぐるみいなりん
クリエーター
編み活ばた子 さん



色鉛筆画家
石黒 徹同 さん



豊川稲荷ボランティアガイド
小林 美代子 さん



「写外ネット」タウンライター
三谷 仁美 (ひとりん) さん



オートバックス豊川店



共和印刷



ポストスターを
作成しました!!



岡田建設



地域商社みかわ



イラストレーター
深見 知那 さん

豊川市の魅力

とよかわ応援サポーターの皆さんに聞いた